

# 心理学の基礎<1>

第13回 社会心理学

担当／浜村 俊傑

# 本日の授業内容

---

1. 前回の復習
2. 本日の目的と到達目標
3. 社会的思考
4. 社会的影響
5. 社会的関係

# 前回の復習

---

- ◆発達心理学では、生得要因と獲得要因，連続性と段階性，安定性と変化で発達を評価したり説明を試みる

## 児童期までに獲得するの代表的な機能

- ◆対象の永続性
  - 物事が知覚されていなくとも存在し続けるという意識
- ◆数量の保存
  - 対象の形が変わっても属性は同じという原理
- ◆心の理論
  - 自分とは異なる信念をもった行為として他者を捉える

# 前回の復習

---

## 思春期

- ◆身体的な発達とともにアイデンティティの形成が進む

## 成人期以降

- ◆様々なライフイベントを迎えるとともに身体的能力が徐々に衰えてくる
- ◆中年の危機
  - 人生が未来ではなく過去を指し始める時期
- ◆老年期を迎えると死別体験が増えるが幸福度も上がる傾向にある

# 本日の目的と到達目標

---

## 目的

- ◆人間関係・対人関係・組織における人の心の動きについて学ぶ

## 到達目標

- ◆態度と行動は互いにどのように影響するのかを例を用いて説明できる
- ◆人の行動は他者の行動によってどのように影響されるかを説明できる
- ◆魅力の要素を述べることができる

# はじめに

- ◆今回の講義では社会心理学の内容を学びます
- ◆人が互いにどのように**思い**，**影響**し，**関係**し合うかを科学的に研究する領域

パーソナリティ心理学	ある同じ状況下で，個人ごとにどのように異なるか
社会心理学	ある同じ個人が，状況ごとにどのように異なる行動をとるか

# 社会的思考

## 態度

- ◆事物，人，出来事に対してどのように応じるかの素因となるものの感じ方

## 態度が行為に及ぼす影響

### ①周辺ルートによる説得

- ◆話者の魅力度といった偶発的手がかりによる影響
- ◆即断に至りやすい

### ②中心ルートによる説得

- ◆興味を抱いた人が言い分を注意深く聞いた後，好意的に応答する影響
- ◆行動への影響に長持ちする

# 社会的思考

## 行為が態度に及ぼす影響

### ① フット・イン・ザ・ドア(foot-in-the-door)方法

◆最初に小さな要求を与えると、後になって大きな欲求にも従ってしまうようになる傾向

- 慈善寄付, 献血, 捕虜の洗脳 (朝鮮戦争時の中国共産党の例)

### ② ドア・イン・ザ・フェイス(door-in-the-face)方法

◆初めにコストの大きい依頼を行い、受け手に拒否させた後、コストの小さい依頼をすると受け入れやすくなる

- セールス



# 社会的思考

## 役割(role)

- ◆社会的地位についての期待（規範）のまとまり。  
その地位にいるものがどのように振舞うかを定義する

## スタンフォード刑務所模擬実験 (Zimbardo, 1972)

- ◆【方法】実験参加者を無作為に(a)看守(b)受刑者の役割に分けた。自分の役割を「演技した」
- ◆【結果】看守の役割のほとんどが人を見下した態度をとり、自ら残忍な方法を編み出した。受刑者は泣き崩れるか、反抗的になるか、あきらめた
- ◆6日後に実験は中止された

# 社会的影響

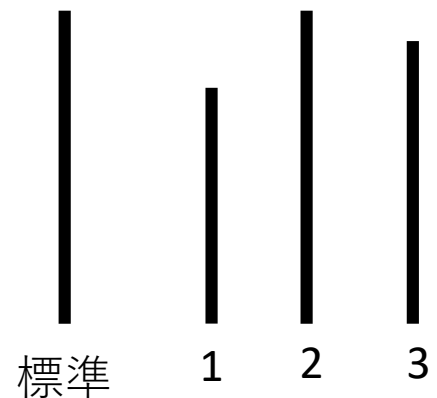
- ◆社会的影響の原理に乗って，広告，資金調達，選挙運動のプロは人々を影響している

## 同調 (conformity)

- ◆自分の行動や思考を，集団の基準と合致するように調整すること

ソロモン・アッシュの実験 (Asch, 1955)

- ◆初めの4人が「標準」と「3」が同じ長さで答えると，次に答える実験参加者の1/3以上も「3」と答えてしまう  
(単独だと99%は「2」の正解を選択)



# 社会的影響

## 服従

◆人は虚偽・残虐にも従うのか？

**ミルグラムの服従実験**(Milgram, 1974)

◆実験参加者は「教師」になって単語のペアリストを学習者に学ばせて、テストする

◆間違うたびに電気ショックを流し、強くするように指示された

◆60%以上が最後のスイッチまで押した



[http://www.roudousha.net/mind2/010\\_milgram.html](http://www.roudousha.net/mind2/010_milgram.html)



[https://twitter.com/simon\\_sin/status/999527541261004800](https://twitter.com/simon_sin/status/999527541261004800)

# 社会的影響

---

服従が要因の一つとなった悲劇

◆第二次世界大戦でのユダヤ人大虐殺

服従がもたらす善行

◆バーケンヘッドの教訓（1852年，英国）

◆船が沈没する際，船客に救命ボートを譲る指示を受けた船員は全員従い，命を捧げた

# 社会的影響

人の行動は他者の存在によってどう影響されるのか？

## 社会的促進 (social facilitation)

◆他者の存在下で作業成績が高まる。一方で難しい課題では作業成績が悪くなる

◆例／ホームアドバンテージ

スポーツ	試合数	ホームのチームが勝利した割合 (%)
野球	120,576	55.6
バスケットボール	30,174	62.9
サッカー	40,380	67.4

# 社会的影響

## 社会的手抜き (social loafing)

- ◆あまり努力を発揮しなくなる傾向
- ◆「他の人がやってくれるから」と考えてしまう
- ◆綱引きの例(Ingham et al., 1974)
  - 後ろに一緒に引っ張ってくれる人がいると、信じると82%の力しか発揮したなかった（ひとりで引っ張っていると分かった時と比べて）

# 社会的関係

---

## 偏見

- ◆ある集団に対する正当化不能な態度（たいていネガティブ）

## ステレオタイプ

- ◆ある人間集団についての一般化した信念

## 差別

- ◆ある集団に向けたネガティブな行動

# 社会的関係

## 人種，文化の偏見

- ◆人種差別的な中傷を聞く腹が立つと口では言うが、その発言を聞いても無関心をもって応じる(Kawakami et al., 2009)
- ◆公然たる偏見はなくなりつつも、微かな偏見は残り多くは自動的で無意識
- ◆9.11テロ着後、西欧やアメリカ人の半数は「イスラム教を暴力的」と認識

## ジェンダーの偏見

- ◆自分の父親を母親よりも頭が良いと思う傾向がある。知能検査での差はなし (Furnham & Rawles, 1995)



# 社会的関係

---

- ◆ 誰かと友達になったり恋人になったりしても、他の人とはそうならないのは何故か？
- ◆ 人間を結びつける心の化学反応とは？

## 魅力を促進する3つの要素

1. 近接性
2. 魅力度
3. 類似性

# 社会的関係

## 近接性

- ◆親友になるには友達にならないといけない
- ◆地理学的近さが友人関係の最大の予測因子
- ◆新奇の刺激を受け続けるだけで好感度が増す（単純接触効果）

（少し可哀そうな）例

- ◆「ある男性が付き合っている女性に700通以上の手紙を書き結婚を迫った。女性は結婚したのだが、その相手は郵便配達員だった」

Steinberg (1993) in Myers (2015)

# 社会的関係

## (身体的) 魅力度

- ◆人の第一印象に最も影響するのは容姿
- ◆スピードデーティングでは身体的魅力が関係を持ちたい予測因子となる
- ◆パーソナリティの第一印象の予測因子
  - より健康で、幸福で、思いやりがあり、社会的スキルがあると認識する(Eagly et al., 1991; Feingold, 1992)
- ◆魅力度と自尊心は無関係 (Diener et al., 1995)

# 社会的関係

## (身体的) 魅力度

### ◆ 文化的相違点や時代の変化がある

- 米国での魅力的な女性の変化
- 極細体系→柔らかで肉体的→やせ型+バストは豊か(Myers, 2015)

### ◆ 文化を超えた共通点

### ◆ 男性が女性を魅力的と判断するもの

- 多産体型, ウエスト対ヒップの比が小さい(Perilloux et al., 2010; Platek & Singh, 2010)

### ◆ 女性が男性を魅力的と判断するもの

- 成熟的, 支配的, 裕福に見える(Gallup & Frederick, 2010; Gangestad et al., 2010)

### ◆ 平均的な顔が魅力的(Langlois & Roggman, 1990)

# 社会的関係

---

## 類似性

- ◆ 友達やカップルは態度, 信念, 興味を共有することが多い
- ◆ 正反対同氏は反発しあう (Rosenbaum, 1986)
- ◆ 「互いにいるほど, 互いにずっと好き合ったままでいる」 (Byrne, 1971; Myers, 2015)

# まとめ

---

## ◆態度と行動はお互いに影響しあう

- 態度→行動（周辺・中心ルートによる説得）
- 行動→態度（foot-in-the-door, door-in-the-face techniques）

## ◆人は与えられた役割に影響を受ける

- スタンフォード刑務所模擬実験

## ◆人は異なった考えを持っていても他者に同調したり服従する

- ミルグラムの服従実験

# まとめ

---

- ◆他者がいることでパフォーマンスが上がったり（社会的促進）下がったりする（社会的手抜き）
- ◆偏見はある集団に対する正当化できない態度であり，多くは自動的で無意識である
- ◆お互いに好きになる3要素は近接性，魅力度，類似性である

# 引用文献

---

- Asch, S. E. (1955). Opinions and social pressure. *Scientific American*, 193(5), 31-35.
- Byrne, D. E. (1971). *The attraction paradigm*. New York: Academic Press.
- Diener, E., Wolsic, B., & Fujita, F. (1995). Physical attractiveness and subjective well-being. *Journal of personality and social psychology*, 69(1), 120.
- Eagly, A. H., Ashmore, R. D., Makhijani, M. G., & Longo, L. C. (1991). What is beautiful is good, but...: A meta-analytic review of research on the physical attractiveness stereotype. *Psychological bulletin*, 110(1), 109.
- Feingold, A. (1992). Good-looking people are not what we think. *Psychological bulletin*, 111(2), 304.
- Furnham, A., & Rawles, R. (1995). Sex differences in the estimation of intelligence. *Journal of Social Behavior and Personality*, 10(3), 741.
- Ingham, A. G., Levinger, G., Graves, J., & Peckham, V. (1974). The Ringelmann effect: Studies of group size and group performance. *Journal of experimental social psychology*, 10(4), 371-384.
- Jamieson, J. P. (2010). The home field advantage in athletics: A meta-analysis. *Journal of Applied Social Psychology*, 40(7), 1819-1848.



# 引用文献

- Kawakami, K., Dunn, E., Karmali, F., & Dovidio, J. F. (2009). Mispredicting affective and behavioral responses to racism. *science*, 323(5911), 276-278.
- Milgram, S. (1974). Obedience to authority. New York: Harper & Row.
- Myers, D. (2015). Psychology. New York: Worth Publishers (マイヤー, D.G. 村上郁也 (監訳) カラー版 マイヤーズ心理学.西村書店.)
- Platek, S. M., & Singh, D. (2010). Optimal waist-to-hip ratios in women activate neural reward centers in men. *PLoS One*, 5(2), e9042.
- Perilloux, H. K., Webster, G. D., & Gaulin, S. J. (2010). Signals of genetic quality and maternal investment capacity: The dynamic effects of fluctuating asymmetry and waist-to-hip ratio on men's ratings of women's attractiveness. *Social Psychological and Personality Science*, 1(1), 34-42.
- Rosenbaum, M. E. (1986). The repulsion hypothesis: On the nondevelopment of relationships. *Journal of Personality and Social Psychology*, 51(6), 1156.
- Zimbardo, P. G. (1972). Pathology of imprisonment. *Society*, 9(6), 4-8.